

研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム  
プロジェクト推進型 SBIR フェーズ1 支援  
2023 年度事後評価結果

|         |                                 |
|---------|---------------------------------|
| グラント番号  | JPMJST2351                      |
| 研究開発課題名 | ペロブスカイト量子ドットによる光変換を活用した農業生産力の強化 |
| 研究代表者   | 山形大学 大学院理工学研究科 教授 増原 陽人         |

**総合評価**

フィルムの機能性向上と栽培条件の改良を通して、ペロブスカイト量子ドットを利用した農業用光変換フィルムによる農作物の収量増加が確認できた。フィルムの性能とその有用性において、製品化に向けて解決すべき技術課題が多いが、専門家と連携して長期的な検証を行うことを期待する。顧客ターゲットや費用対効果を明確にしてビジネスモデルの具体化を行い、事業の実現性を高める必要があると考える。

以上